

文 献 目 録

文献調査委員会

注：○掲載順序：雑誌名・巻号・発行年月・論文名・ページ数・著者
○目録欄に登録の雑誌はすべて土木学会土木図書館備付図書である。

土木施工 13-11 72-10

- 1 全国新幹線網建設計画について—新幹線列島へ— (13-19) 菊池 正
- 2 福山駅高架橋の設計・施工 (20-29) 吉倉外茂央
- 3 竹原トンネルの施工 (上半先進タイヤ工法) (30-36) 長浦 弘
- 4 太田川橋りょうの設計施工 (37-45) 未統 啓
- 5 新開門トンネル上部半断面吹き付けコンクリートの施工 (54-60) 佐藤・伊藤
- 6 高梁川橋りょうの設計と施工計画について (67-71) 富士野・安井

土木施工 13-12 72-11

- 7 PCウェル工法による弁天大橋 (静岡県道路公社) の施工 (13-20) 水田・松浦
- 8 中国高速道路宝塚トンネルにおける大断面トンネルの施工 (21-31) 山田富貴雄
- 9 中央道拡幅工事の施工—特に急斜面上の施工について— (32-37) 中野達雄
- 10 建設技術の発展と国の会計経理 (その 4) (42-44) 小沼敬八
- 11 シュミットハンマによるコンクリートブロックの管理 (その 2) (45-49) 坂田俊之
- 12 天然ガス輸送幹線の建設 (67-71) 小林 仁
- 13 土木技術者のための宅地造成の施工技術 (第6回) 道路と宅地割 (72-77) 鈴木信太郎
- 14 コンクリート技士・主任技士試験 (その 2) (78-85) 村田二郎
- 15 建設機械施工技術検定 (その 3) (87-93) 梅田亮栄
- 16 建設業の安全衛生管理体制と災害防止活動 (1) (96-98) 北山宏幸
- 17 港湾計画の手法と事例 (その 2) (99-109) 高橋・鈴木
- 18 中小都市における下水道工事の施工技術 (その 2) (111-114) 森 長一

土木技術 27-9 72-9

- 19 AASHO 道路試験結果を使ったバージニア州のタワミ性舗装設計 (24-30) 間山正一
- 20 海底地盤と早期付着強度を目的としたボンドの一実験 (31-39) 長崎作治
- 21 新橋地下駅施工に伴うビル受工法 (1) (61-69) 渡辺・石山
- 22 洞海湾沈埋トンネル工事 (70-78) 藤原康弘
- 23 東京地下駅工事の概要と特徴 (2) (79-87) 山本 努
- 24 最近の着目すべき施工法—凍結工法による地盤改良工法— (42-48) 石井武美
- 25 新しい道路標示方書による設計資料 (2) (49-52) 曾川正之
- 26 交差点の計画設計の事例 (その 1) (91-102) 石井一郎
- 27 土木技術の中の酸素欠乏 (その 6) (103-111) 今泉敏迪
- 28 桌上電子計算機による圧密試験の一整理法 (112-113) 赤石 勝

- 29 RC構造物における強度のばらつき (114-120) 山崎・服部
- 土木技術 27-10 72-10
- 30 淡水河の洪水予報 (24-32) 西原 巧
- 31 写真によるトンネル断面測定 (33-39) 森・大塚・岡本
- 32 固定式波力発電における各種モデルパイプに作用する波浪とその内部空気圧 (1) (40-48) 長崎作治
- 33 新幹線高架橋受替え工事 (主として下部工事について) (77-85) 井上・小林
- 34 宇治川改修工事 (86-92) 三露嘉郎
- 35 新橋地下駅施工に伴うビル受工法 (2) (93-104) 渡部・石山
- 36 火山灰質粘性土の土質改良—強制乾燥工法による— (52-59) 鎌田正孝
- 37 交差点の計画設計の事例 (その 2) (60-68) 石井一郎
- 38 土木技術の中の酸素欠乏 (その 7) (106-116) 今泉敏迪
- 39 新しい道路標示方書による設計資料 (3) (117-122) 曾川正之
- 土木技術 27-11 72-11
- 40 都市内における土木構造物の耐火性 (24-37) 泉・加藤
- 41 沈埋トンネル設計に関する一考察 (その 1) (38-46) 蝦名・横山・田村
- 42 固定式波力発電における各種モデルパイプに作用する波浪とその内部空気圧 (2) (49-57) 長崎作治
- 43 併設シールド工事における地盤沈下—都営地下鉄西神田シールドの実測— (62-68) 遠藤・村田・有園
- 44 東京地下駅の防災設備 (77-82) 山本 努
- 45 疲労を考慮したアスコン舗装の設計 (83-91) 笠原・間山
- 46 新しい道路標示方書による設計資料 (4) (122-123) 高橋・斎藤
- 施工技術 5-10 72-10
- 47 施工管理の合理化と責任施工 (6-13) 大島秀信
- 48 品質管理の合理化—アスファルト舗装工事を中心に— (15-21) 谷本誠一
- 49 施工管理委託の現状と問題点 (22-26) 中野達雄
- 50 チェックリストによる施工管理 (27-33) 窪田隆行
- 51 舗装工事における責任施工 (34-45, 13) 根本 守
- 52 鋼橋工事における責任施工 (47-58) 池田 甫
- 53 道路維持補修工事における責任施工 (60-64) 平川延一
- 54 海外におけるテルアルメ工法 (65-74) 島田俊介
- 55 水中発破工法による栄橋旧橋の解体工事 (75-83) 増子・佐々木
- 56 労働安全衛生法の概要 (84-87, 120) 加来利一
- 57 ビルの移動工事 (88-98) 安部源三郎
- 施工技術 5-11 72-11
- 58 集中豪雨による斜面崩壊の本質的検討 (14-21) 田中 茂
- 59 集中豪雨とはどんなものか—土砂崩壊との関連性において— (22-29) 奥田 穰
- 60 土砂崩壊地における粘土鉱物の分布とその性質 (30-38) 小坂文子
- 61 集中豪雨とマサシ斜面の崩壊 (39-46) 網干寿夫
- 62 シラス地帯での道路土工の防災対策—九州縦貫道の場合— (47-54) 原田・河村
- 63 集中豪雨による切取崩壊—鹿児島本線薩摩大川駅構内の例— (55-62) 松本克雄
- 64 昭和 47 年災害の状況とその問題点 (65-71, 104) 矢野勝太郎
- 65 46 年度千葉県集中豪雨による土砂災害 (73-79) 吉中竜之進
- 66 46 年度千葉県集中豪雨災害の復旧工事 (80-86) 高橋・辻
- 67 岩盤地すべりの実態とその問題点 (87-92) 渡 正亮
- 68 豪雨による山地崩壊と森林との関係 (93-98, 62) 難波宣士
- 69 集中豪雨による宅地のかけ崩れ—東京・横浜地方における

トヨコックガムキ トヨコックビットロード

フルオートマチックブームを採用したドリルジャンボですので、孔座の移動決定が容易です。

また遠隔操作により簡単に、しかも安全確実なさく孔が行なえます。高性能なTY90 ライトドリフターを搭載していますので、サイクルタイムが一段と短縮され、急を要するトンネル掘さくに最適です。

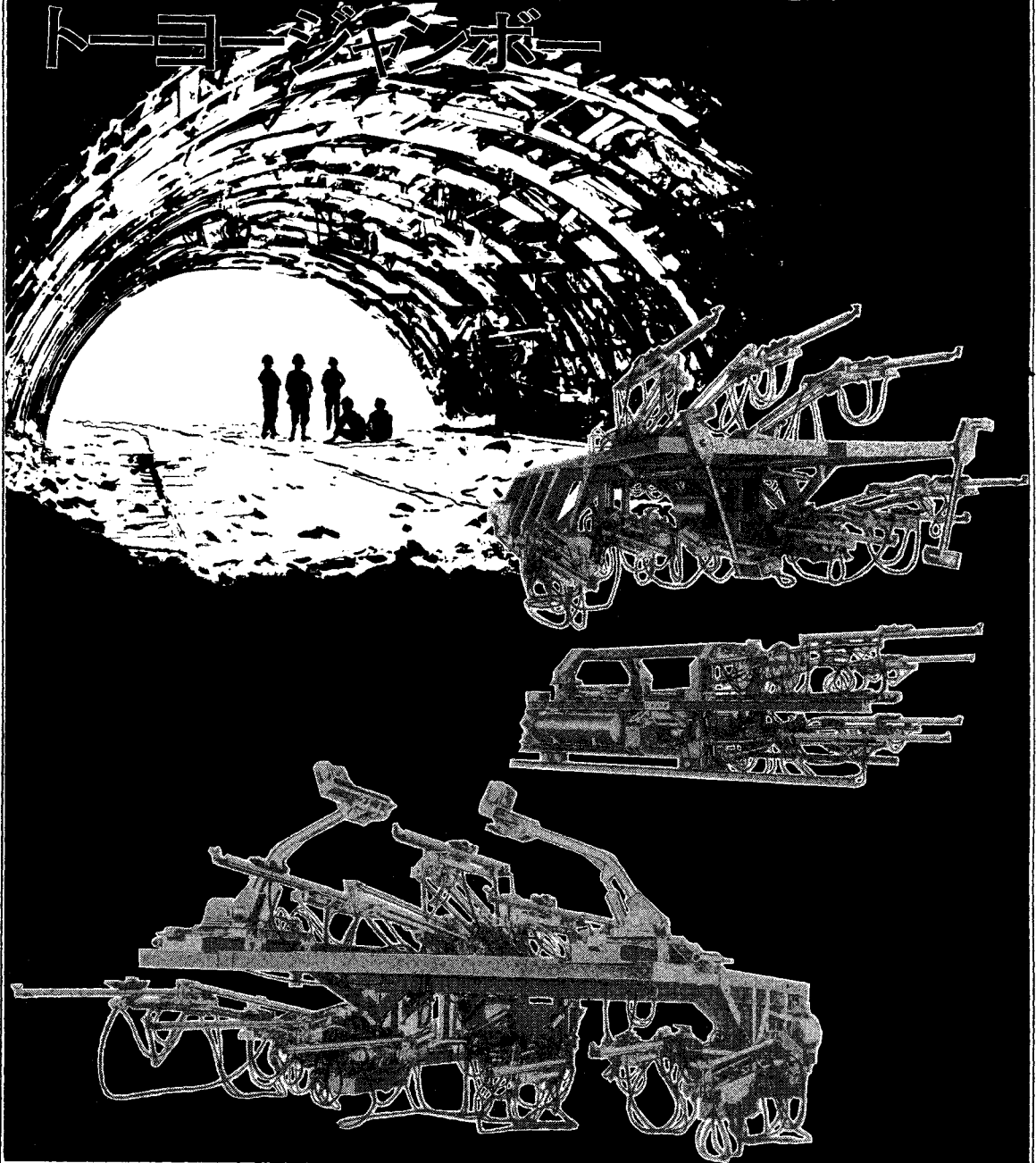
発売元

東洋さく岩機販売株式会社

東京支店	東京都中央区日本橋3丁目2号	TEL (272) 1711
大阪支店	大阪市東淀川区長崎町5-5	TEL (252) 3231
名古屋支店	名古屋市中区錦4丁目3-4 (不夜ビル)	TEL (231) 2451
福岡支店	福岡市中央区天神2丁目1番16号	TEL (36) 3492
札幌支店	札幌市南一条通1丁目8番	TEL (233) 5451
仙台支店	仙台市七軒5丁目8番53号	TEL (63) 2551
高松支店	高松市美野町1丁目3-4 (中産ビル) TEL	(61) 6137
広島支店	広島市東区3丁目3-17	TEL (82) 2281

製造元 東洋工業株式会社

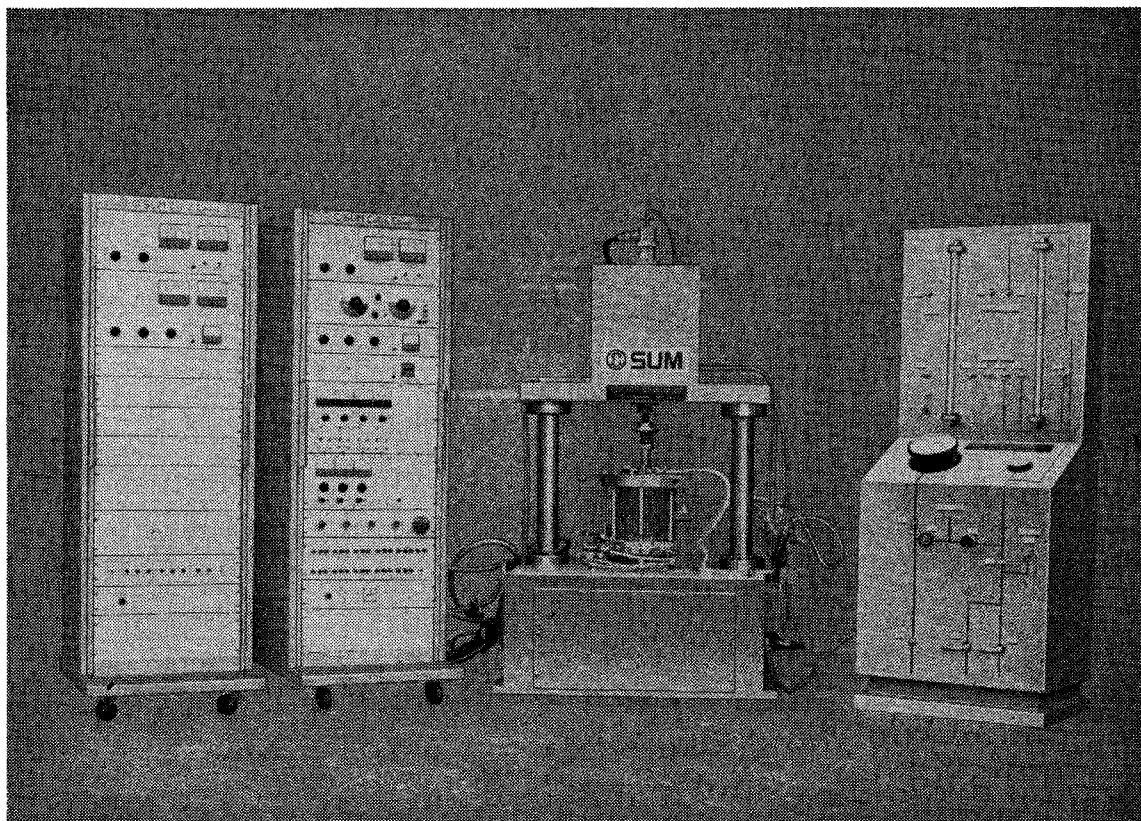
トンネル工事に能率と安全性を追求した トヨコックジャンボ



- 実際例 (99-104) 岸田英明
- 70 集中豪雨と土石流 — 足和田村に発生した土石流 — (105-114) 岡 重文
土と基礎 20—8 72—8
- 71 宅地開発雑誌 (1-4) 関口 洋
- 72 パーチカドレーン工法による軟弱地盤の改良について (5-12) 網干寿夫
- 73 圧密による軟弱地盤の改良効果 (13-18) 山村和也
- 74 圧密による軟弱地盤の改良効果 (19-24) 中瀬・小林
- 75 圧密による軟弱地盤の改良効果について (25-31) 持永龍一郎
- 76 圧密による軟弱地盤の改良効果 (33-48) 室町・渡辺
- 77 地盤改良の効果について (41-48) 佐藤典夫
- 78 圧密による軟弱地盤の改良効果 (49-54) 佐々木 伸
- 79 製鉄所における軟弱粘性土の地盤改良 (55-61) 新見吉和
土と基礎 20—9 72—9
- 80 海洋開発の現状と展望 (1-2) 石井文雄
- 81 海底地盤調査と問題点 (3-11) 新野 弘
- 82 シーパース建設工事における海底地盤調査例 — 新日鉄大分シーパース (13-20) 大室・金光
- 83 本州四国連絡橋海底地盤 (明石海峡) の調査について (21-26) 高橋・杉田
- 84 音波による海底地盤調査 (27-82) 新谷・杉田
- 85 東京湾環状道路の海底地盤調査 (33-37) 市川 慧
- 86 東京港海底沈埋トンネル地盤調査 (39-47) 岡田・堂山
- 87 埋立て土に利用するジュンセツ土の事前調査 (49-56) 松本一明
- 88 海底地盤調査機器 — とくに小規模沈置式装置について — (57-64) 河内英幸
- 89 わが国周辺海域の地質構造 (65-70) 星野通平
- 90 海底地盤の調査について — 諸外国の現況 (71-75) 森 博
- 91 土の動的性質 12. 講座を終わるにあたって (84-84) 市原松平
- 92 情報の集め方と利用の方法 7. 土質工学・基礎構造関係の情報検索の現況 (85-89) 岸田英明
建設の機械化 270 72—8
- 93 庄内平野における送泥客土の計画と施工 (8-13) 茂野啓一
- 94 大雪ダムの機械設備と施工実績 (14-18) 相田・今井
- 95 第108回 現場フォアマンのための土木と施工法 XVII 建設機械概説 3. ショベル系建設機械 (その 3) (77-85) 田中成一
建設の機械化 271 72—9
- 96 山陽新幹線竹原トンネルの施工概要 (3-7) 長浦・古田
- 97 海匂川導水路トンネル第4工区の施工実績 (8-13) 杉野・内田
- 98 海匂川導水路トンネル第9工区の施工実績 (14-20) 大久保・前沢
- 99 大久保架道橋工事におけるメッセル新工法 — スライディング・アーマ工法 — (21-27) 宮坂達夫
- 100 ローター掘削機による面掘削実験 (28-33) 松本克己
- 101 東京地下駅工事の設備機械 (34-39) 太田 晃
建設の機械化 272 72—10
- 102 九州縦貫自動車道の工事概況と土工計画における特殊問題 (7-13) 政野光男
- 103 北陸自動車道の除雪対策 (14-17) 大森・山上
- 104 木曾川用水事業の計画と現況 (18-23) 藪亀淳夫
- 105 真名川ダムの施工設備 (24-31) 伊集院 敏
土木技術資料 14—8 72—8
- 106 道路交通管理の将来 (3-7, 20) 藤田・小野・柴田
- 107 急斜傾地の調査事例とその考察 (8-15) 安江・大久保
- 108 現地載荷試験時における岩盤の挙動特性の測定 (16-20) 飯田・小林
- 109 出水時の砂州フラッシュ機構の検討法 (21-27) 山本晃一
- 110 粘性土を材料とする高盛土の一設計施工 (28-34) 伊勢田・田中
- 111 現場施工の太径鉄筋ガス圧継手低サイクル疲労試験 (35-37) 国広・井上・福田
- 112 セメントモルタルの耐酸性に関する実験 (38-44) 坂本浩行
土木技術資料 14—9 72—9
- 113 河川管理と水質の監視 (4-5, 25) 西原 巧
- 114 河川の付着藻類による水質監視 — 河川水中の微量重金属を対象として — (6-10) 小堀和夫
- 115 湖沼の富栄養化現象 (11-15, 31) 柏谷 術
- 116 感潮域、海域における汚濁計算法の発展 (16-20) 村上 健
- 117 下水の三次処理における石灰凝集沈殿によるリン除去 (21-25) 京才俊則
- 118 雨天時下水の水質特性と処理対策 (26-31) 斎藤健次郎
- 119 汚濁負荷原単位の現状とその問題点 (32-35) 安中徳二
- 120 のり面崩壊観測調査の一例 (36-42) 桑原・久楽・片桐
- 121 ホンコンのがけ崩れ災害速報 (43-46) 岡本正男
- 122 現場計測 (6) トンネル (その 1) — トンネルの施工 — (49-54) 今田・石橋
コンストラクション 10—9 72—9
- 123 営団地下鉄8号線銀座1工区の特殊掘さく計画 <狭あい道路における特殊掘さく工法> (1-11) 猪瀬二郎
- 124 中央道恵那山飯田方トンネル応力測定調査報告 (下) (12-22) 玉川 清
- 125 荒川左岸流域下水道工事における東京放送ラジオアンテナタワー防護地盤改良工事 (23-31) 中西・真壁・八木
- 126 神戸・高倉山における大口径掘削機の陸上実験概要 (32-36) 松本克己
- 127 IHI-WIRTH L-10 S 大口径掘削機について (37-42) 餅田豊久
- 128 川崎-KSD 型大口径型掘削機について (43-48) 亀井隆雄
- 129 大口径岩掘削機 BM-1 について (49-51) 三宅淳達
- 130 三菱シャフトボーリングマシン MD-360 について (52-55) 石田政己
- 131 鋼管矢板継手部の止水機構について (56-62) 志間・斎藤・林
トンネルと地下 3—9 72—9
- 132 本工事を迎えた青函トンネル (3-9) 足立貞彦
- 133 道路トンネルの新しい換気対策 — 真鶴トンネル — (10-13) 高木・田島
- 134 曲線を含む 527 m の推進工法 — 東電 東京・中野の例 — (14-22) 青柳・小林
- 135 東京中央郵便局のアンダピンニング (3) — 東京地下駅 — (24-32) 山本 努
- 136 道路トンネル入門 (1) (44-48) 立石俊一
- 137 アースアンカー工法 (1) (49-53) 市瀬・横田
- 138 トンネル工事の設備機械 (54-58) トンネル用機械の手びき小委員会
トンネルと地下 3—10 72—10
- 139 ロックボルトの現状と方向 (3-6) 斎藤 徹
- 140 膨圧強大な折渡トンネルの改築 わが国第一号のシールドを発掘 (7-13) 稲葉・駒木・橋口
- 141 複雑な帯水砂れき層の大断面シールド 営団地下鉄8号線護国寺一工区 (14-24) 滝嶋・川村
- 142 ゴットハルトトンネルの設計・施工 世界最長の道路トンネル (26-31) 蜂谷・長友・岩井

動的三軸試験の計算制御

動的三軸試験、任意波形、任意位相、長時間の無人化、自動間歇記録、入力信号のプログラム化、出力信号の計算、及び、その出力による全体の制御が可能



サーミック動的三軸圧縮試験装置

(特許数件申請中)

— 新しい技術と確かな実績 —



株式会社 **サム電子機械**

〒157 東京都世田谷区南烏山6丁目14-11
TEL 東京 (03) 308-0231 (代表)

カタログ請求書
七 木

- 143 北アルプスに大規模地下掘さく 東京電力新高瀬川発電所 (39-46) 池田 進
- 144 道路トンネル入門 (2) (49-55) 立石俊一
- 145 アースアンカー工法 (2) (56-59) 市瀬・横田
- 146 B.A.R.T 工事におけるシールド施工実績 (47-48) 北村市太郎
コンクリートジャーナル 10-9 72-9
- 147 コンクリートの試験方法の現状と問題点 (12-21) 岡田 清
- 148 コンクリート製品の用上の問題点—くいの施工について— (22-27) 榎並 昭
- 149 コンクリート製品の製作上の問題点—とくに遠心力コンクリート製品の問題点について— (28-31) 綾 亀一
コンクリートジャーナル 10-10 72-10
- 150 力学的性質にみられるコンクリートの異方性 (1-12) 十代田知三
- 151 コンクリートの圧縮強度試験に用いる標準供試体について—立方体供試体の提案— (13-19) 山崎・上条
- 152 横浜新道保土ヶ谷高架橋幅補強工事 (20-32) 上野・桜田・西・勝木
- 153 コンクリートの試験方法/第1回 1. 軽量骨材試験 (33-39) 西林新蔵
- 154 プレストレストコンクリートはり・柱組立材の耐震性 (40-51) 竹本 靖・沢
- 155 気中乾燥されたモルタル供試体の重量変化と収縮に与える供試体の形状・寸法の影響 (52-58) 佐藤・吉岡
- 156 ポリマーセメントモルタル (59-63) 武田一久・沢
農業土木学会誌 49-9 72-9
- 157 唐人川ヒ門の基礎工について—RC グイによる基礎工の設計施工 (27-32) 真鍋・森部
- 158 トラクター直装型弾丸暗キョのコウ配布装置について (33-36) 永石・山下
- 159 深山ダム基礎における凝灰角レキ岩盤の力学特性について (その2) (37-41) 村田・鈴木
農業土木学会誌 40-10 72-10
- 160 農業と環境保全 (7-10) 玉城 哲
- 161 農地と防災 (11-14) 角屋 睦
- 162 都市化と農業用水の水質汚濁 (15-19) 後藤定年
- 163 河川の水質汚濁機構の解明について—多摩川支流の宇奈根川をモデルとして— (20-25) 大井・田中
- 164 水利施設のゴミ公害 (26-30) 鈴木光剛
- 165 都市化に伴うカンガイ用貯水池の廃止と環境保全 (31-34) 福田 清
- 166 浅海開発と環境保全 (35-41) 井上裕雄
- 167 土壌汚染の現状と対策 (42-47) 堀島 博
- 168 農業災害の特質 (48-51) 山瀬俊一
- 169 シラス地帯の農地災害 (52-56) 細山田健三
- 170 集中豪雨に対する房総東部大用水地域の対応諸相 (57-62) 光村・中村・加藤・大久保
- 171 土地改良と冷害—昭和46年北海道の冷害について— (63-66) 片岡・横田・堂腰・梅田
- 172 農地防災事業の現状 (67-70) 中村・黒川
橋 梁 8-9 72-9
- 173 北海の斗い (67-67) 石井靖丸
- 174 花崗岩地域での海底部橋梁基礎調査 (1) エアガンをを用いた海底屈折法の実施例 (26-34) 山県・武内
- 175 ソナービーコン式測位装置 (35-38) 中西・平尾
- 176 水中土木工事に使う潜水調査船について (39-46) 芦野民雄
- 177 弾性探査法による海底調査 (48-56) 吉田 寿
- 178 海底地質調査について—最近の音波探査の記録から— (57-66) 蜷川親治
橋 梁 8-10 72-10
- 179 連続地中壁を用いた立体構造物の設計施工例—首都高速5号線(Ⅱ期)熊野町立体交差 (26-42) 榎本・関沢・大野
- 180 新荒川橋梁下部工事の施工—仮締切工事の諸問題— (43-52) 満野・石井・結城
- 181 筑後川河口新田大橋の設計・施工 (53-73) 田中・野正・大石・安達・首藤
- 182 三重県生浦大橋の設計について (74-82) 三木・大賀
- 183 南海橋の設計と施工—第三編 メインケーブル (83-98) 杉山・俵矢・関
- 184 PC鋼線の腐蝕について (その1)—主として米国の現状報告 (99-102) 前田・間山
- 185 近代吊橋の父 ジョーン・ローブソング (5) (104-109) 川田忠樹
橋梁と基礎 6-9 72-9
- 186 プレテンション方式PC単純Tゲタ橋の標準設計 (1-6) 岩松・工藤
- 187 多柱基礎の構造特性 (7-14) 多田浩彦
- 188 無人潜函試験施工の概要 (15-21) 西山・伊藤
- 189 生浦大橋主径間上部工の工事概要—概要および設計— (22-26) 北田・菊野
- 190 境水道橋主橋梁の設計概要(上) (32-40) 谷合・上条・人見・土井
橋梁と基礎 6-10 72-10
- 191 上部工の計画 (6-12) 国広哲男
- 192 海峡連絡橋の下部工の計画 (13-17) 吉田 廉
- 193 航行安全 (18-23) 福島 弘
- 194 潮流力と波力 (24-29) 服部昌太郎
- 195 海峡連絡橋と風 (30-34) 大久保忠良
- 196 海峡連絡橋と地震 (35-40, 102) 山田善一
- 197 海底地質調査法 (41-46) 高橋幸蔵
- 198 海と鋼材の腐食 (47-51) 善 一章
- 199 海上作業船 (52-59) 尾藤一郎
- 200 海上架設 (60-65) 成瀬・大池
- 201 海峡連絡橋の測量 (66-72) 後藤英一
- 202 海底地盤掘削 (73-82) 田中王子也
溶接学会誌 41-8 72-8
- 203 フランスにおける最近の電子ビーム溶接法 (41-54) 寺井・永井・黒瀬
- 204 すみ肉溶接割れに関する研究 (55-64) 田中・北田
- 205 溶射被膜の加圧焼結法に関する研究 (65-70) 北原・岡根・蓮井
溶接学会誌 41-9 72-9
- 206 <半自動アーク溶接特集> 半自動アーク溶接についての今後の問題点 (18-29) 益本 功
- 207 <半自動アーク溶接特集> 半自動アーク溶接の技能と習熟について (29-43) 中村 実
- 208 <半自動アーク溶接特集> 半自動溶接の心線送給装置に関する諸問題 (43-51) 荒谷 雄
- 209 <半自動アーク溶接特集> 造船における半自動溶接の現状 (52-61) 有川正康
- 210 摩擦圧接の加熱過程について (62-72) 福島・蓮井
- 211 溶接桁の鋼種別の疲労強度について (73-81) 菊池・山田
- 212 オーステナイトステンレス鋼熱影響部における結晶粒界挙動に関する研究 (第1報) (82-96) 田村・渡辺



車が知っている

バツグンな走行性

SHO-BOND

カットオフ・ジョイント

総延長20万米を突破した伸縮装置のエース
どのような橋梁にも適合し、設計・施工が簡単で、しかも走行性
・耐久性が優れているショーボンド・カットオフジョイントは、
遂に我が国の主要道路における伸縮装置の50%にも達しました。

株式
会社 **ショーボンド**

本社：東京都千代田区神田小川町2-1 Tel.292-1841(代)

- 213 軟鋼のろう付強度におよぼす表面状態の影響 (第5報) (97-107) 末沢芳文
溶接技術 20—8 72—8
- 214 溶接部の割れ概論 (21-27) 広和俊雄
- 215 ニッケルおよびニッケル合金の溶接割れとその対策 (29-42) 新 成夫
- 216 ステンレス鋼における割れとその対策 (43-50) 足立正博
- 217 80 キロ高張力鋼の多層すみ肉部の割れとその対策 (51-56) 荒木陸郎
- 218 片面溶接における割れとその対策 (57-62) 寺井 清, 外
- 219 鉄骨、橋梁における高張力鋼の割れとその対策 (63-67) 須清修造
- 220 肉盛溶接の割れとその対策 (69-72) 松田克洋
- 221 鋳物の割れとその対策 (73-78) 三上 博
- 222 高張力鋼溶接部の割れとその対策 (79-84) 山崎康久
- 223 丸角鋼、湯口などの新しい自動ガス切断法 (85-88) 吉川実郎 外
- 224 TIG 溶接装置とその使用法 (95-123) 電気溶接機部会
- 225 フェブリケーターよりみた半自動溶接 (125-129) 内田信邦
溶接技術 20—9 72—9
- 226 検査の自動化の現状と将来 (37-39) 白岩俊男
- 227 溶接継手の種類と検査方法 (41-49) 渡辺竹春, 外
- 228 欠陥の種類と検査法 (51-55) 藤盛紀明
- 229 アコースティック・エミッション法の現状 (57-62) 磯野英二
- 230 放射線管理 (63-67) 荒川 昌
- 231 各種構造物のポイント (圧力、容器) (69-73) 高沖 亮, 外
- 232 各種構造物の検査のポイント (船舶) (75-80) 国富 晃
- 233 各種構造物の検査のポイント (重電機) (81-84) 吉田洋司
- 234 9%Ni 鋼のサブマージアーク溶接 (85-90) 片笠泰治, 外
- 235 現場焼鈍工場の品質管理 (91-93) 宮永善男
- 236 インフラ・ユニット・ヒーターを用いた局部応力除去装置および予熱装置 (95-100) 武内曉夫
- 237 アルミニウムおよびその合金の溶接割れについて (101-112) 杉山禎彦
新 砂 防 24—4 72—4
- 238 溪床土石の移動過程調査の方法 (6-13) 新谷 融
- 239 用水流のモデルによる山地小流域の流出解析 (第1報) (14-19) 篠原・速藤・小川
新 砂 防 25—1 72—5
- 240 土のレオロジー的特性とその崩壊現象との関連性について (6-13) 下村悦郎
- 241 航空写真判読による斜面の安全度解析 (1) —高山線での実施例—(14-23) 小橋・今井・久保村
- 242 急傾斜地崩壊の調査 (24-30) 中山・真砂・渡・安江・大久保
- 243 亀の瀬地すべり (調査と防止対策) (31-36) 近畿地建大和工事事務所
新 砂 防 25—2 72—9
- 244 砂防工学の展望 (1-3) 山口伊佐夫
- 245 斜面安定解析 I —主として標準砂使用室内実験に基づいて— (5-17) 佐々恭二
- 246 表層崩壊の実験 (IV) —浸食と表層崩壊— (18-24) 小橋・今井・草野
- 247 溪床幅、溪床勾配の変化が土石流堆積におよぼす影響について (25-27) 田畑・市ノ瀬
- 248 梓川扇状地の家屋の形態について —砂防的人文地理の観点から— (28-30) 田畑・阿部
- 249 地すべり土庄の変動状態について (31-38) 福本安正
- 250 グルー火山 (インドネシア国、東部ジャワ州) 周辺の荒廃5ヵ川に対する砂防全体計画の検討 (英文) (39-41) 横田和昭
- 251 礫床河川における流出土砂量の測定 (42-44) 池谷 浩・沢地すべり 8—4 72—4
- 252 地すべり層準の地質的分類について (1-7) 安藤 武
- 253 パイプひずみ計により地すべり土塊の変形の姿を求める方法について (8-11) 山口真一
- 254 公団札幌—小樽道路滝の沢工事区地すべり地の調査 (12-20) 石井・長尾・渡辺・田治米
- 255 簡易貫入試験の斜面地盤調査への適用 (20-29) 大久保・上坂・般崎
- 256 地すべり地における地温測定調査について (2) —御殿山・亀ノ瀬両地すべり地— (30-38) 竹内篤雄
水利科学 16—3 72—8
- 257 人工地下水かん養法の実験的研究 (1-25) 落合敏郎
- 258 森林と水資源 (26-58) 中野秀章
- 259 土壌による汚水処理 (59-76) 新見・三谷
- 260 箱根用水の開きと利水の展開 (2) (77-96) 高瀬和昌
- 261 水資源開発の管理について (97-116) 藤岡大信
水利科学 16—4 72—10
- 262 水道水源の汚染について (1-16) 田中・鈴木
- 263 ネーデルランドにみる人工地下水 (36-45) 蔵田延男
- 264 阿武隈山地南部の自然と崩壊 (46-60) 大矢雅彦
- 265 林内放牧が浸透および侵蝕に及ぼす影響 (61-87) 村井 宏
- 266 少雨期に大雨が降る 1972 年 (88-102) 朝倉 正
水 と 土 9 72—5
- 267 海外技術力を考える (2-7) 坂本 正
- 268 ADB から日本農業土木への注文 (8-13) 高瀬国雄
- 269 “OTCA” の紹介とその活動—海外を志す人のために—(14-21) 木村・田内
- 270 熱帯農業研究センターの活動 (22-29) 八島武夫
- 271 インドネシアの土地改良事業と技術協力 (30-38) 北村純一
- 272 フィリピンナウハン地区の技術協力について (39-46) 大久保善隆
- 273 セイロン国デワフワ・プロジェクトの実施状況について (47-58) 堀江実信
- 274 ラオス、タゴン地区の技術協力について (59-63) 近藤 莊
- 275 インド・ダンダカラニヤ地区技術協力について (64-72) 大口美喜男
- 276 日韓技術協力をめぐる話題 (73-79) 石川 明
- 277 タンザニアにおけるかんがい排水技術に協力して (80-84) 井上淳二
- 278 トリニダードのかんがい開発 (85-92) 平井慎介
- 279 日本政府主催 FAO 協力かんがい排水セミナー (93-95) 農林省農地局設計課
水 と 土 10 72—8
- 280 農業水利施設管理の基本問題 (2-9) 佐竹五六
- 281 わが国の農業水利の管理の現況と問題点 (33-42) 太田更一
- 282 用水管理に関するいくつかの問題点 (43-45) 岡本雅美
- 283 管理面からみた水利用計画のあり方 (46-50) 宮野能典
- 284 愛知用水・豊川用水における水路施設管理からみた設計上の問題点について (51-59) 野崎伸也
- 285 土地改良施設の維持管理の現況 (60-75) 石堀俊夫
- 286 ダムの管理基準について (66-73) 八木直樹
- 287 大夕張ダム管理について (74-87) 中川秀夫
- 288 利根大堰の管理について (88-92) 永井 正
- 289 群馬用水の管理について (93-101) 長浜通夫

ARIMITSU ハイドロジェットクリーナー

—— 水で鉄を切る時代です ——

アリミツとは、水のエネルギー開発（洗滌、ハクリ、ハツリ、切断）の専門メーカーです。
豊富な実績と機種（30～350 kg/cm² × 10ℓ/min～260ℓ/min × 1.5 kw～55 kw）28機種



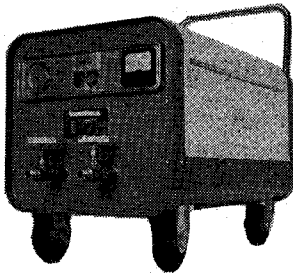
ダンパー洗滌



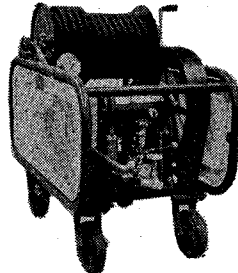
コンクリートブロック切断

用途例

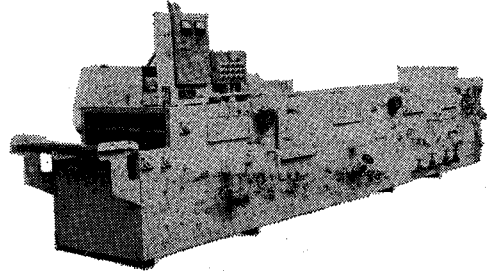
- ダンパー及び建設車輛の洗滌及び自動洗滌装置
- 建設用機器洗滌
- 鋼材錆打
- 超高圧部品自動洗滌装置（足場部品等）
- レータンスカット
- コンクリートプラント洗滌及びハツリ
- コンクリート機器の洗滌及びハツリ
- ヒューム管内部洗滌
- 岩盤洗滌（ダム等）
- シートパイル洗滌及び自動洗滌装置
- シートパイル打込補助水圧ボーリング
- 海底掘削水圧ボーリング



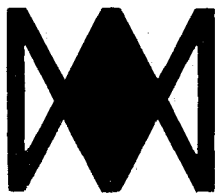
TC-5DX型



TS-10C型



部品自動洗滌装置



有光工業株式会社

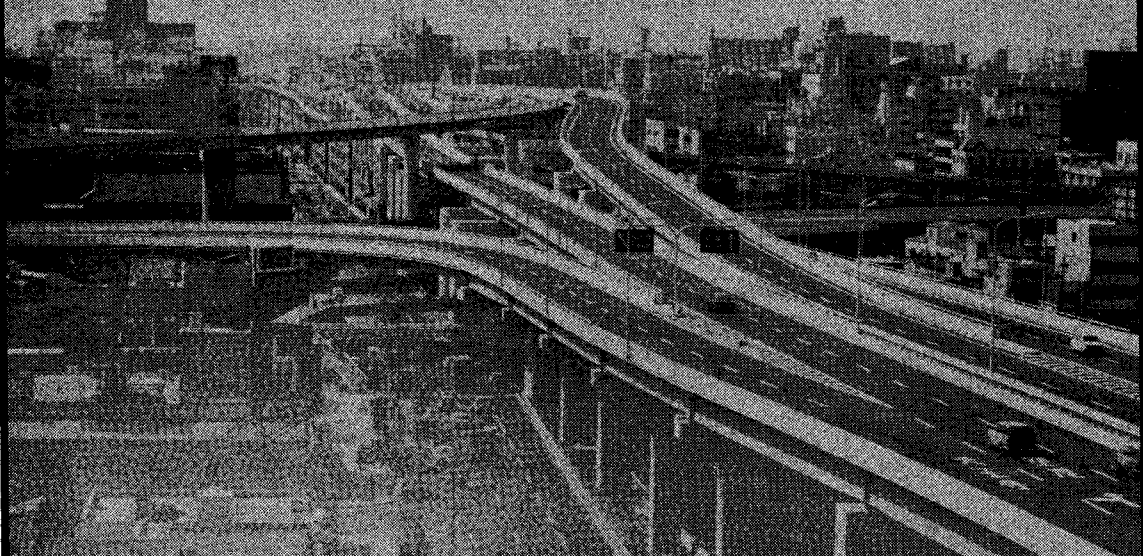
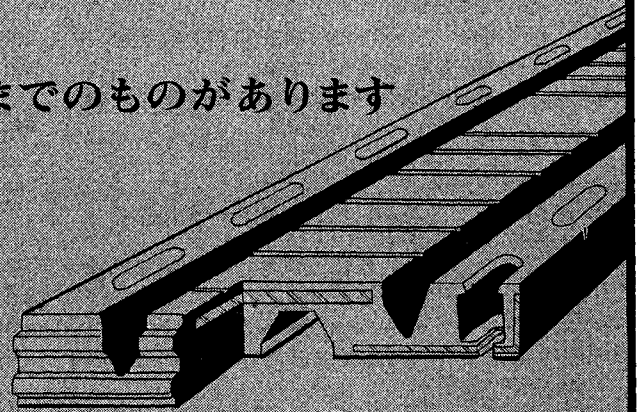
本社 大阪市東成区深江北2丁目3-21 TEL 971-2531(大代)
東京出張所 東京都千代田区神田北乗物町16(英ビル) TEL 254-0855(代)
営業所 札幌・仙台・大宮・清水・松本・福岡

- 290 広域管理事業方式の課題と展望 (102-107) 早乙女昭三
OCEAN AGE 4-9 72-9
- 291 海外石油開発=最近の動向-石油新資源を求めて, 海外進出のわが国企業群の動向- (65-71) 加藤正和
OCEAN AGE 4-10 72-10
- 292 第2回国際海洋開発会議の聞きどころ- 海洋環境, 調査, 探査, 海洋資源など中心に- (22-25) 佐々木忠義
- 293 第2回国際海洋発展の見どころ- 海洋開発企業グループを中心に (40-42) 編集部
- 294 日米天然資源開発会議 (UJNR)- 海洋天然資源開発をひろく発展させる国際協力 (68-69) 盛谷智之
- 295 海洋気象委員会と海洋技術会議- 海洋気象と観測技術に対する問題討議 (71-74) 小龍正一郎
- 296 “しんかい” の活動状況 (105-110) 浅野一郎
- 297 海底地名と沈島伝説 (111-113) 桜田勝徳
- 298 フランスとフランスの海洋研究所 (116-119) 芦野民雄
港湾荷役 16-5 71-9
- 299 富山新港荷役設備 450 t/h アンローダについて (509-513) 戸松久典
- 300 米国・ポートアーサー港石炭船積設備 (513-520) 遠矢義久
- 301 新日本製鉄(株) 広畑製鉄所原料岸壁大型アンローダ (521-524) 川野・桜井
- 302 ニッケル鉱石用 500 t/h アンローダについて (525-528) 村松洋一
港湾荷役 16-6 71-11
- 303 大形自動整理システムによる港湾荷さばき施設の新技术の企業化 (603-614) 泉 忠明
- 304 神戸港公共自動車屋の整備について (615-618) 鳥居幸雄
- 305 荷役用グラブパケットのつかみ特性 (618-621) 岩田尚生
港湾荷役 17-1 72-1
- 306 日鉄鉱業(株) 鳥形山鉱業所の石灰石輸送設備について (103-106) 日鉄鉱業(株) 鳥形山鉱業所
- 307 鳥形山長距離コンベヤ装置 (106-108) 川崎昭次
- 308 山元破碎設備と海岸選鉱設備 (109-110) 藤田善次郎
- 309 棧橋の建設 (113-114) 中村 靖
- 310 シップローダと海上コンベヤ (115-116) 加藤竹夫
- 311 新日本製鉄(株) 大分製鉄所の主原料荷役設備の概要 (123-128) 川辺正行
- 312 2,000 袋/時, 袋物船積機 (128-131) 松本嘉彦
港湾荷役 17-2 72-3
- 313 鈴与(株) 袖師第2埠頭チップ荷役設備概要 (203-206) 斎藤・今仲・井手
- 314 新日本製鉄(株) 大分製鉄所 2,500 t/h クラプトロリ式橋形アンローダの概要 (207-212) 宅崎・三好
- 315 三菱重工(株) 香焼工場ドック用 600 t 橋形クレーン (213-215, 212) 奥村 仙
- 316 鹿島港土砂輸送用ベルトコンベヤ施設 (216-224, 238) 運, 第二港建, 機械課
- 317 秋田港本港地区荷役機械設計 (本港中島岸壁 2~3 号埠頭 (225-227) 港湾荷役機械化協会, 秋田港本港地区荷役機械設計委員会
発電水力 119 72-7
- 318 中津川第一発電所増設工事について (第2部) (3-22) 高橋正一
- 319 電源開発へのエコロジーの視点の導入 (23-36) 渡辺千仞
- 320 手取川電源開発計画の概要 (39-48) 将亦・小南
- 321 河川法および特定多目的ダム法の一部改正について (49-53) 堀田 稔
- 322 可部発電所の計画概要 (54-61) 南 一良
- 323 流速計検定所の竣功について (62-66) 小野塚辰夫
- 324 土木技術者のための地質 (第4部) (67-76) 田中治雄
大 ダ ム 61 72-9
- 325 ユーゴスラビアのダム見学報告 (1-11) 佐々木和彦
- 326 ソ連邦ダム視察報告-Inguri, Nurek および Charvac ダム (12-27) 三木久寿
河 川 313 72-8
- 327 日本列島の改造と治水 (3-4) 稲浦鹿蔵
- 328 琵琶湖総合開発特別措置法の制定とその運用に望まれること (5-12) 山内一郎
- 329 大阪の水利用の現況と将来 (36-44) 首藤和正
- 330 メコン河の流域計画 (45-51) 新家義雄
- 331 北海道の河川における今後の課題 (52-58) 北海道土木部河川課
河 川 314 72-9
- 332 韓国の河川事情 (23-29) 小坂 忠
- 333 特定多目的ダム法の一部を改正する法律 (30-31) 柳 晃
- 334 堤防と道路の兼用工作物管理協定 (準則) (32-36) 生野易男
- 335 メコン河の流域計画 (その2) (51-57) 新家義雄
水道協会雑誌 456 72-9
- 336 都区区内および三多摩地区における井戸水の水質 (4-13) 中村・樋口・会田
- 337 消石灰注入による赤水抑制の好結果 (14-16) 小森茂夫
- 338 汚泥処理設備の計画経過と運転実績 (17-25) 坂本・中川
水道協会雑誌 457 72-10
- 339 米国における浄水技術と施設の現況 (2-13) 河村 勳
- 340 フロクキュレーターの合理的設計 (V) (14-27) 丹保・渡辺
- 341 小雀浄水場発生ケーキの焼成実験 (I) (28-37) 光安順三
- 342 管路の経済的設計に関する研究 (II) (38-61) 小出 崇
水処理技術 13-3 72-3
- 343 染料工場廃水混合下水の混合薬品凝集処理と活性汚泥処理に関する研究 (1-13) 橋本・藤田・福智・松井
- 344 水処理における無機凝集剤の作用と応用 (15-41) 豊田環吉
- 345 BOD の速度定数の計算について (3) (43-50) 佐藤孝彦
水処理技術 13-4 72-4
- 346 高分子凝集剤の化学 (1-14) 西村正人
- 347 下水汚泥の脱水における凝集剤の利用 (15-23) 白庄司・福智・東条
- 348 酸化還元電位について (25-29) 名和野竜雄
- 349 活性汚泥法による吸着を伴う BOD 除去の反応理論とその反応速度定数の性格について (31-46) 中山真一
水処理技術 13-5 72-5
- 350 都市下水汚泥の凍結脱水処理 (1-7) 松村・衣笠
- 351 ガスオイルを原料とする菌体タンパク質の生産 (9-16) 戸田・小川・倉部・宇佐見
- 352 廃水中の油分の測定 (17-22) 近藤五郎
- 353 鉄塩によるバルブ廃水の脱色処理 (23-28) 後藤・宇野・尾崎
- 354 汚性汚泥法による吸着を伴う BOD 除去の反応理論とその反応速度定数の性格について (2) (29-42) 中山真一
- 355 活性スラッジ法によるビール廃水の処理 (43-46) 山口 昇
- 356 「水処理工学」凝集とフロック形成 (5) (53-57) 丹保憲仁
- 357 静岡県下に試験的に設置した特殊型し尿浄化槽の水質 data からみた型別, 構成部分別機能の実態 (S. 30.1~42.3) (59-67) 鈴木 登
- 358 凍結による汚泥の脱水 (69-73) 戸田一郎

トランスフレックス®

橋梁・高架道路用 伸縮継手

伸縮量が大きい
最大330mm(特殊660mm)までのものがあります



超早強度無収縮ポリエステルコンクリート
スタ-コンクリートP
も製造しております。

技術に生きる



※各種詳求は当社開発までお申し出下さい。

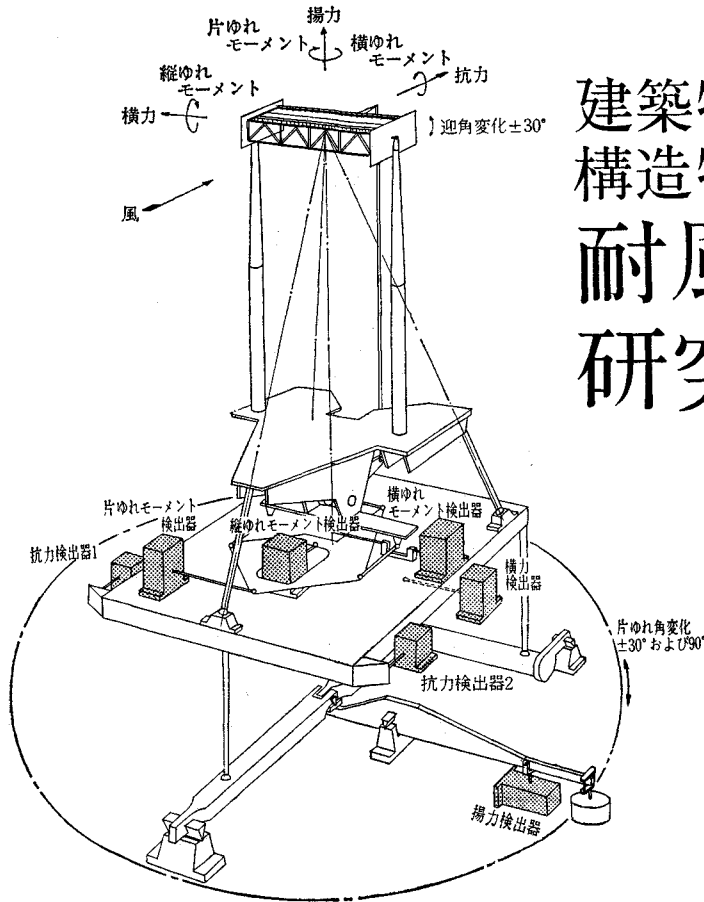


新田ベルト株式会社

本社 〒541 大阪市東区博労町4丁目41
電話 大阪 06-251-5601(代)

- 東京支店 03-572-2301 福岡支店 092-74-4376
- 名古屋支店 052-586-2121 北陸支店 077-246-6225
- 札幌支店 011-241-0458 広島支店 082-701-7308

- 359 活性汚泥と嫌気性消化によるリン除去へのアルミニウムの影響 (74-77) 森川治記
- 360 超高速汚濁法による冷間圧延排水の処理 (78-81) 細田慎一
- 361 粒状活性炭による廃水処理 (81-83) 山県昌継
- 362 2次・3次処理水が湖・河川の藻類の増殖におよぼす影響について (84-86) 上出健一
水処理技術 13-6 72-6
- 363 土壌汚染と浄化作用 (3) 一農薬汚染について (1-78) 高橋一三
- 364 廃棄物と人との対決—処理技術のたちおくれ— (19-22) 鈴木和雄
- 365 曝気循環型ろ床による汚水処理 (1) (23-29) 岩井・北尾・浦辺・大森
- 366 活性炭による水処理 (第3報)—活性炭による脂肪酸水溶液の吸着— (31-36) 立本・有賀・嶋田・北川
- 367 公害防止計画における水質汚濁計算について (1) (37-42) 栗林宗人
- 368 「水処理工学」粒状層汚過 (清澄汚過) (1) (49-48) 丹保憲仁
- 369 水質技術への統計学的組み方 (1) 統計学の歴史を中心として (53-60) 鈴木 登
- 370 廃水再生における最近の進歩 (61-65) 衣笠美弘
- 371 スラッジ焼却に関する所見 (65-70) 白川 昇
- 372 熱処理による下水汚泥の脱水 (70-72) 中野勝彦
- 373 排水および2次放流水中のコロイド物質について (72-75) 大植雅美
- 374 排水をつかった回分式活性炭吸着 (75-81) 山田 豊
- 375 ダラス市における廃水の再生利用研究 (81-87) 安達吉夫
水処理技術 13-7 72-7
- 376 産業エコロジーモデルによる産業政策へのエコロジー的接近 (1-23) 渡辺千仞
- 377 曝気循環型ろ床による汚水処理 (2) —し尿単独処理浄化槽への応用— (25-32) 岩井・北尾・浦辺・大森
- 378 苫小牧周辺錦多峰河川の水質 (37-41) 増田・小林・梶原
- 379 グラフによるし尿処理場検査表の見方について (43-50) 田中・長沢・加藤
- 380 公害防止計画における水質汚濁計算について (2) (51-71) 栗林宗人
- 381 「水処理工学」粒状層汚過 (清澄汚過) (2) (73-77) 丹保憲仁
- 382 最新水処理用ろ過プラント (79-77) 衣笠美弘
- 383 好気性汚泥の安定化に関する動力学的考察 (81-83) 桃井清至
- 384 都市下水の物理化学的処理 (83-86) 河杉志昭
- 385 高分子凝集剤による藻類のプロキユレーション (86-89) 山下誠一郎
- 386 乱流中でのプロキユレーションシステムにおけるフロックの崩壊 (89-94) 間処威俊
- 387 汚水流出水中のリンの藻類生長におよぼす影響 (95-97) 山本正視
水処理技術 13-8 72-8
- 388 産業エコロジーモデルによる 産業政策へのエコロジー 的接近 (2) (1-10) 渡辺千仞
- 389 水の磁界処理について (11-15) 石原 透
- 390 重金属を含む汚泥による埋立の安全性について (処分の研究 2) (17-25) 井上頼輝
- 391 微量油分の測定について (27-31) 萩原一芳
- 392 放線菌の発臭に関する予備実験 (中間報告) (33-38) 梶・服部
- 393 無機イオンの凝集に及ぼす影響 (39-46) 高野 茂
- 394 公害防止計画における水質汚濁計算について (3) (53-66) 栗林宗人
水温の研究 16-3 72-9
- 395 わが国における多目的淡水湖の技術的展望 (3-12) 南 勲
- 396 河川水温の研究 (Ⅲ) (その 4) (13-24) 森田 浩
- 397 多摩川下流部の塩分分布 (25-32) 梅津正倫
工業用水 168 72-9
- 398 工業用水の使用合理化について (3-8) 田島秀雄
- 399 産業排水等再生利用調査の研究状況について (9-16) 綾 日出教
- 400 東京都における下水の再生利用について (17-19) 都水道局計画部計画課
- 401 海水淡水化の大型プロジェクトについて (20-29) 水上 脩
- 402 海水淡水化装置の実用化の現状 (30-38) 土屋恵一
- 403 水資源としての人工地下水 (34-49) 小西泰次郎
- 404 河口湖開発計画について (50-55) 木川・矢野
- 405 海水淡水化用フラッシュ蒸発装置伝熱面におけるスケール (56-62) 高木・佐熊
- 406 海水淡水化用フラッシュ蒸発装置缶体における腐食 (63-71) 山田繁蔵
- 407 海底貯水槽 (72-77) 狩野徳太郎
工業用水 169 72-10
- 408 横浜市臨海中小企業団地の工場排水対策について (3-14) 佐藤昌之
- 409 セメント製造業における水使用の合理化について (15-18) 田中友子
- 410 水中のプラスチック可塑剤フタル酸エステル類について (1) 河川水および PVC 管浸出液中のフタル酸ジブチル (DBP) の検出 (19-23) 片瀬隆雄
- 411 新しい無機凝集剤の製造と利用 (24-28) 蟹江・武富
- 412 プラスチックス軟水ろ床法による 産業廃水処理に関する研究 (第2報) みかんかん詰廃水の処理 (29-33) 平井・柴田・田中・橋本
下水道協会誌 9-99 72-8
- 413 下水道管きょ設計における積算エンピュータ化 (2-10) 河合・吉村
- 414 ラグーンによる3次処理実験 (11-23) 藤井・大宮・杉本
- 415 欧米の下水道事情 (1) 一下水汚泥の処理・処分を中心に— (24-41) 永井一郎
- 416 リン酸塩を含まない家庭用合成洗剤の開発 (48-53) 大垣真一郎
- 417 PAAP 方式パッチテストによる藻類培養実験の評価 (54-56) 鈴木重之
- 418 水域におけるサンプリングと測定 (56-58) 湯浅信吾
- 419 ペンタクロロフェノールの分析方法 (58-59) 三本木 徹
- 420 底生生物に対するしゅんせつ汚泥の影響を測定する方法 (59-61) 桜井敏郎
下水道協会誌 9-100 72-9
- 421 汚泥熱処理に関する基礎的研究 (2-12) 平岡・武田・村上・富田
- 422 湿式酸化装置の運転実績—横浜市北部下水処理場— (13-30) 池田・田中
- 423 欧米の下水道事情 (2) 一下水汚泥の処理, 処分を中心にして (31-42) 永井一郎
- 424 拡散方程式の数値計算法の紹介 (43-48) 村上 健
空気調和・衛生工学 46-1 72-1
- 425 外気補償形室温制御装置の研究 (3-8) 新津・仁後・中森
- 426 電子計算機による“空調設備の自動設計・製図・積算一貫システム” (9-23) 川元・梅主・笠原・市橋



建築物・橋りょう・屋外 構造物の 耐風安定性の 研究に

構造物——とくに橋や塔は、強風下における強度が問題です。島津風どう天びんは、風によって構造物に加わる力を風どう実験で測定し、耐風安定性のデータを得ます。風どう内に取りつけた模型に、強さ、方向などの異なる種々の条件の風を作用させ、模型に加わる力の6分力・3分力を一度に読みとることができます。

■島津データ処理装置「バランスパック700」を併用いただくと、オンラインあるいはオフラインで、データを自動処理し、ただちに作表・作図し、テープにもさん孔でき便利です。

空気力学実験用

島津風どう実験装置

橋りょう用、建築用、水そう用、その他

島津風どう装置

ゲッチンゲン形、エッフェル形

製造範囲：吹出口寸法 250mm～数m

風速 10～100m/s

脈動装置ほか、特殊仕様も製作可

島津風どう天びん

ゲッチンゲン形、ピラミッド形、インターナル形、ほか

製造範囲：容量 数10g～数100kg

分力数 2～6分力



島津製作所

科学計測事業部

●カタログご請求・お問合せはもよりの営業所へ

604 京都市中京区西ノ京桑原町1 (075)811-1111
東京 296-2157 / 大阪 373-6566 / 福岡 27-0331 / 名古屋 563-8111 / 広島 48-4311 / 京都 211-6161 / 札幌 231-8811 / 仙台 21-6231 / 神戸 331-9661 / 大分 36-4226

427 ハンブルグの地域暖冷房 (25-37) 井上宇市
 空気調和・衛生工学 46-2 72-2

428 京王プラザホテルにおける地域熱源の受入れについて (1-20)
 中村・岡本・相楽・田中・佐藤

429 高温水管における最適温水温度の決定 (21-32) 井上・赤松

430 アメリカの地域冷暖房 (33-63) 野口・山岸
 空気調和・衛生工学 46-3 72-3

431 電算機による動的空調負荷計算法 (3-37)

432 手計算による最大負荷計算法 (39-77)

433 都営住宅の使用水量調査 (80-94)
 空気調和・衛生工学 46-4 72-4

434 活性炭素による SO₂ ガスおよび H₂S ガスの除去 (1-9) 江
 向・稲垣・直井

435 蓄熱水そうの蓄熱量の解析 (1) (11-17) 松平・阪倉

436 札幌市下野幌における地域給熱の概要 (27-44) 平嶋・阿江
 空気調和・衛生工学 46-5 72-5

437 地中埋設管の損失熱量と温度降下の概略計算法 (1-13) 岡田
 旭郎

438 熱回収方式に関するケーススタディ (15-40) 井上・新・岡田

439 病院設備に関する新基準 (41-45) 井上宇市
 空気調和・衛生工学 46-6 72-6

440 都市における大気汚染とその対策 (4-18) 早川一也

441 室内の空気汚染の制御 (20-28) 藤井正一

442 大気汚染の測定法 (42-53) 山手 昇

443 室内空気汚染の測定 (54-64) 今野啓一
 道 路 377 72-7

444 道路維持管理の基準化 (30-36) 萩原 浩

445 多柱基礎 (37-46) 多田浩彦

446 舗装に対する軸重換算係数の考察 (47-53) 小林 晃

447 鋼道路橋の合成桁の設計—合成作用の取扱いについて—(64-
 75) 前田・佐伯・日種・梶川

448 くい頭部とフーチングの結合部の設計 (76-84) 浅間・足立
 道 路 378 72-8

449 地すべり・ノリ面崩壊の問題点とその対策 (2-7) 渡 正亮

450 道路ノリ面保護工の実態調査 (8-16) 桑原・久楽

451 中央道地すべり・ノリ面崩壊とその対策 (17-22) 福田俊城
 道 路 379 72-9

452 OECD・PIARC 第 9 回国際橋梁構造工学会議に出席して
 (14-19) 福岡正巳

453 第 2 回アフリカ道路会議に出席して (20-25) 早生隆彦

454 エカフェ第 9 回道路および道路輸送小委員会, 道路交通・
 道路標識の作業部会 (26-32) 本山 莚

455 アフリカ諸国駆けめぐり (33-37) 渡辺忠雄

456 韓国の道路事情 (38-43) 近藤泰夫

457 本州四国連絡橋の海底掘削実験 (その 1) (44-52) 新開節治

458 アスファルト舗装の板作用 (その 1) (53-61) 星野出雲
 道 路 380 72-10

459 第 7 次道路整備五ヶ年計画 (案) の概要 (2-17) 建設省道路
 局

460 交通事故防止への提言 (18-29) 加瀬正蔵

461 道路を追って—その効果と今後のあり方— (24-27) 加藤宣利

462 日米運輸専門家会議 (28-32) 吉田泰夫

463 道路標識のシンボル化に関する国際会議に出席して (32-39)
 木倉正美

464 本州四国連絡橋の海底掘削実験 (その 2) (60-66) 新開節治

465 アスファルト舗装の板作用 (その 2) (67-73) 星野出雲

466 コンクリートノリ面と景観 (74-76) 中原万次郎

高速道路と自動車 15-4 72-4

467 有料道路における自然保護のあり方 (22-25) 高橋 力

468 浜名湖における観光開発の経済効果 (26-30) 山崎 充

469 観光交通量の推定方法 (31-35) 森地 茂

470 道路景観を考慮した道路設計 (61-66) 高速道路調査会

471 南太平洋地域総合開発調査報告 (69-74) 高速道路調査会
 高速道路と自動車 15-5 72-5

472 都市間高速道路の交通管理の展望と問題 (22-26) 吉田 滋

473 都市内高速道路の交通管制システム (27-36) 木下・稲田

474 交通管制機器とその開発 (37-46) 松永典昭
 高速道路と自動車 15-6 72-6

475 流通システムと高速道路の経済性 (7-11) 前田源吾

476 交通機関の速さと選択 (12-15) 佐竹義昌

477 新東京国際空港・都心間の道路交通情報 システム に関する
 二, 三の考察 (25-32) 石井・富田
 舗 装 7-5 72-5

478 維持修繕工法としての薄層舗装の効果 (11-15) 秋吉・筒井・
 石原

479 幕張および大日, 横戸試験舗装の経過と概要 (16-23) 月成・
 谷本

480 美々試験道路におけるその後の調査結果 (24-29) 斎藤・久保・
 神崎・鈴木

481 すべり抵抗性を考慮した耐摩耗混合物の配合 (30-33) 大山・
 山影
 舗 装 7-6 72-6

482 舗装設計の体系化とその問題点 (3-9) 南雲・瀬戸・山下・山
 之口

483 急硬性スラリーシーリング工法 (10-13) 鈴木・笠原

484 矢板および水戸バイパス試験舗装のその後 (14-18) 小崎・飯
 島

485 幕張および大日, 横戸試験舗装の経過と概要 (19-23) 月成・
 谷本
 舗 装 7-7 72-7

486 舗装設計の体系化とその問題点 (3-9) 南雲・西中村・瀬戸・
 山下・金谷・山之口

487 東北道・岩槻〜宇都宮間の舗装 (10-14) 桂木・渡辺・村山

488 加古川バイパス試験舗装のその後 (15-20) 窪田利和
 舗 装 7-8 72-8

489 名神のオーバーレイ (1-2) 米沢寛一

490 ホットロールドアスファルトについての問答 (3-12) 佐藤・村
 上

491 ロッド方式によるプレストレスト・コンクリート 舗装—小
 名浜・四倉線の舗装工事— (13-19) 桑原良恭

492 ロータリカッタによる舗装の切削と廢材の処理 (20-23) 内藤・
 羽村

493 強力締固め形アスファルト・フィニッシャの性能試験(24-27)
 桑垣・鈴木

494 やさしい計測法 (30-33) 榎本文之丞

495 舗装機械の使い方 (34-35) 高野 漢
 舗 装 7-9 72-9

496 新東京国際空港の経済性とその展望 (3-8) 池田迪弘

497 新東京国際空港A滑走路の舗装 (9-14) 青山 一

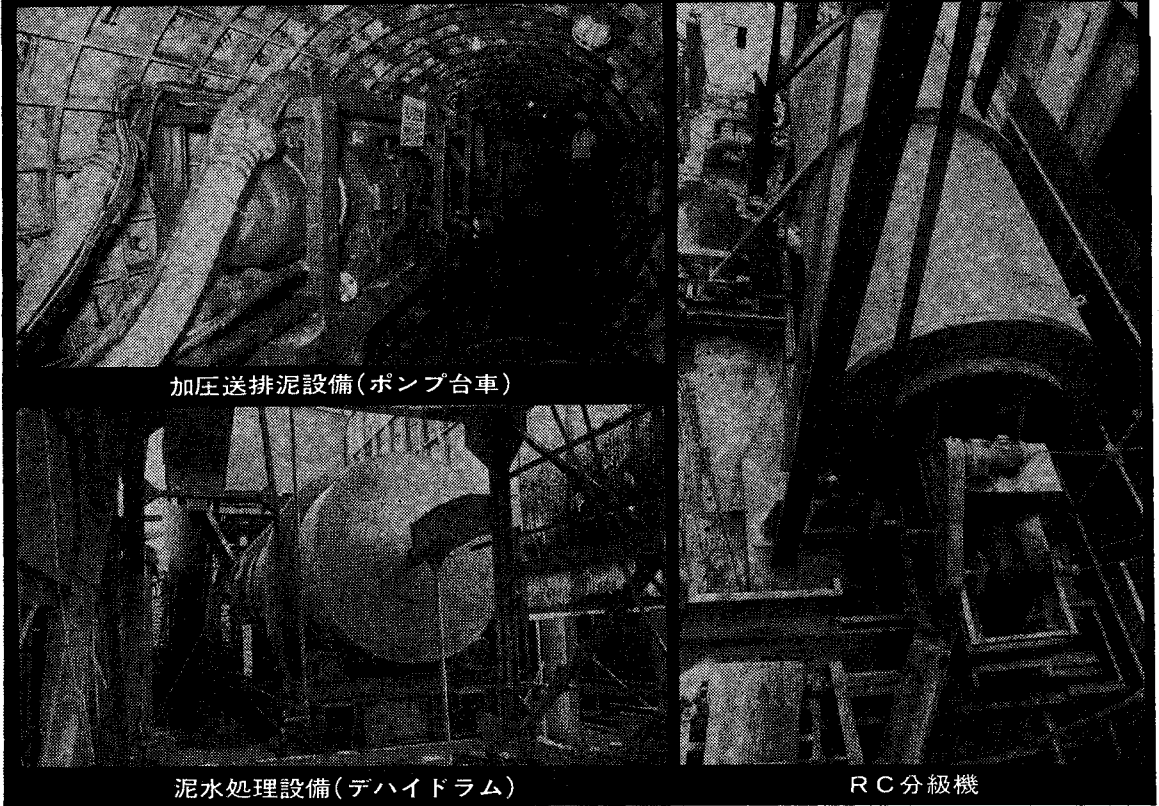
498 急硬性スラリーシーリング工法 (15-19) 稲垣・田中・鈴木・笠原

499 コンテナターミナルの舗装 (20-24) 高沢信次郎
 舗 装 7-10 72-10

500 維持補修 (3-3)

501 舗装の維持基準 (4-7) 萩原 浩

流体機械のトップメーカー〈荏原〉が開発した…



加圧送排泥設備(ポンプ台車)

泥水処理設備(デハイドラム)

RC分級機

写真は関東電気通信局の新松戸局分局工事に活躍したエハラ泥水シールド式トンネル工事設備

特許・実用新案申請中

- RC分級機・デハイドラムの使用により、他に例を見ない完全泥水処理方式で、処理水はそのまま河川などへ放流できます。
- 処理設備で分離された土砂は含水率が低いため、水がしたたることがなく、ダンプ車などで輸送できます。
- 処理設備はコンパクトにまとめられており、据付スペースは最小で済みます。
- 加圧送排泥設備は、カッター水圧室内圧力の自動制御・各種計測装置を含め、カッターと共に前進する台車上に、コンパクトにまとめられております。

エハラ

泥水シールド式トンネル工事設備

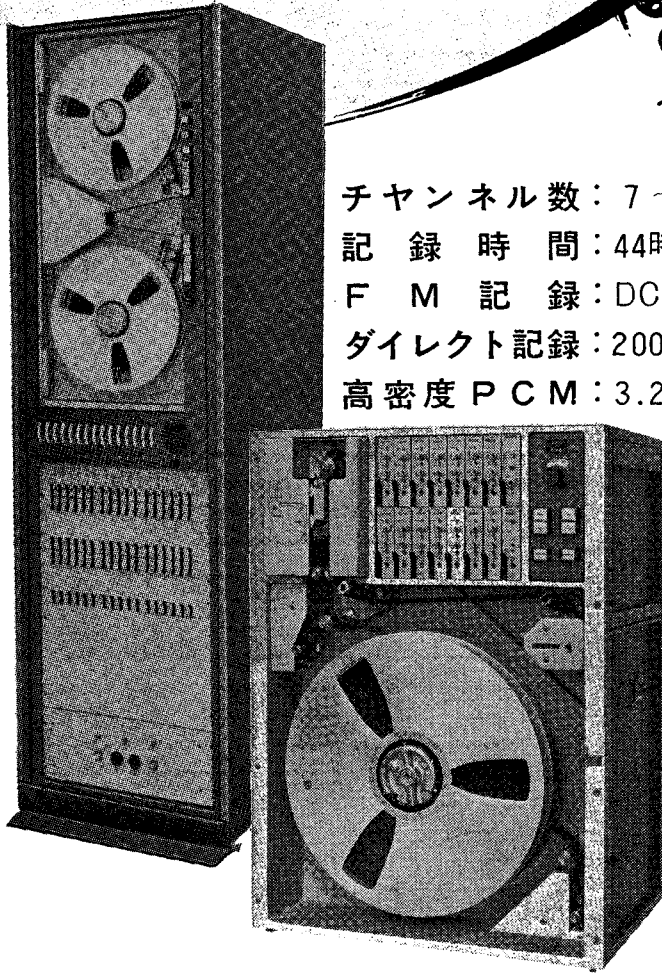
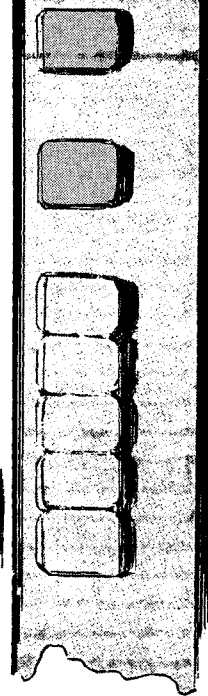
EBARA 荏原製作所

本社: 東京都大田区羽田旭町 741-3111
東京支社: 東京都中央区銀座6丁目 朝日ビル 572-5611
大阪支社: 大阪市北区中之島2丁目 新朝日ビル 203-5441
営業所: 名古屋・福岡・札幌 出張所: 仙台・広島・新潟・高松

- 502 名神・東名高速道路の舗装の維持管理 (8-12) 長谷川幸夫
 503 国道 264 号線の舗装の打換え (13-16) 清水・深見
 504 すべり止め舗装の耐久性 (17-21) 山下・金野・土屋・永富
 505 維持補修現場の雑感 (22-23) 伊藤 忠
 506 欧米の高速道路の維持見て歩き (24-28) 相沢千明
JREA 15-7 72-7
 507 レーダーによる運転管理 (16-21) 須田忠治
 508 地域間急行のネットワーク化に伴う地急情報システムの改造と問題点 (22-25) 浅賀英雄
 509 フレートターミナル情報システム (26-30) 石丸・中川・吉田
JREA 15-9 72-9
 510 鉄道と安全工学 (1-7) 村野賢哉
 511 自動車・新幹線・航空機 (8-11) 大塚 滋
 512 電気関係通信運用体系近代化 (12-15) 三浦一男
 513 運転事故防止のためのチェックリスト (16-18) 長田和夫
 514 近畿日本ツーリストにおける旅行情報システム (19-22) 圓尾裕
 515 名古屋地下鉄の車庫操車集中制御装置 (23-26) 川合幸彦
 516 スラブ敷設機械 (27-31) 牧野茂樹
 517 日本海縦貫線全線電化完成 (32-35) 高木博司
JREA 15-10 72-10
 518 20 年後の鉄道 (7-8, 13) 小島紀久雄, 外 5 名
 519 近代化鉄道のソフトテクノロジー (14-17) 飯山雄次
 520 オープンカウンター (1) (18-21) 栗山好男
 521 コンテナ情報システム EPOCS (22-25) 浅賀英雄
 522 将来の指令システム (26-28) 金森 勝
 523 これからの貨物ターミナルの最適レイアウト (33-36) 松田忠義
 524 広島における都市交通について (37-41) 豊田栄治
鉄道線路 20-6 72-6
 525 保線機械の開発とその経過 (4-11) 秋元 清
 526 車上門形スラブ運搬機・車上門形ロングレール運搬機 (16-19) 上之山倉吉
 527 単線式スラブ軌道運搬敷設機械 (20-22) 石原一比古
 528 高速軌道検測車 (23-24) 桜沢 正
 529 939 形ロングレール輸送更換車 (25-28) 河合田鶴夫
 530 レール積卸用操重車 (ソー60) (29-34) 酒井・志済
 531 除雪機械の発達 (37-40) 工藤智明
 532 保線機械の騒音対策 (41-42) 秋元 清
 533 これからの保線機械の開発 (47-49) 牧野茂樹
 534 世界の保線機械 (51-55) 川端一生
鉄道線路 20-7 72-7
 535 やさしい保線講座 (6) (27-32) 三宅一雄
 536 衝撃に対するレスポンス (47-51) 佐藤 裕
 537 わが国とアメリカのレール損傷統計の比較および今後の国鉄の損傷統計の方向 (52-54) 黒田・松村
鉄道線路 20-8 72-8
 538 営業線スラブ軌道の施工 (3-2) 佐藤嘉晃
 539 途中脱線事故防止に関する線路側の対策 (9-13) 椎名・笈
 540 防振マットによる地下鉄の振動軽減 (14-16) 風巻・藤原・中村
 541 昭和 46 年度北海道の除雪 (17-21) 工藤・松村
 542 中編成機械化作業実施その後 (岡山局) (22-26) 伊藤 環
鉄道線路 20-9 72-9
 543 中編成機械化作業 1 年の歩み (3-6) 五味 勉
 544 土木工事に伴う軌道仮設 (7-11) 安藤 昇
 545 大鉄局における大形機械保線作業の進展 (13-17) 乾 清一
 546 スラブ軌道突部に生じる圧力 (38-38) 梅窪・山本・湯浅
鉄道線路 20-10 72-10
 547 目で見える保線 100 年 組織, 服制, 建物 (2-5)
 548 目で見える保線 100 年 保線作業と機械 (6-15)
 549 目で見える保線 100 年 軌道用材料 (16-21)
 550 目で見える保線 100 年 保線行事 (22-23)
 551 目で見える保線 踏切の今昔 (24-25)
 552 目で見える保線 100 年 著名災害 (26-31)
鉄道土木 14-9 72-9
 553 東京地下駅の防災対策 (6-10) 山本 努
 554 フーチング基礎の水平抵抗に関する模型実験 (11-14) 室町・守山
 555 外国における最近の鋼橋架設事故例 (15-19) 阿部英彦
 556 首都高速道路の橋脚補強 (21-25) 露崎 滲
 557 新幹線と現在線高架化の同時施工<山陽新幹線福山駅> (27-33) 吉倉外茂夫
 558 トンネル内スラブ軌道の設計・施工 (下)<東海道本線真鶴トンネル> (35-39) 鈴木・松本
鉄道土木 14-10 72-10
 559 鉄道の未来 (10-11) 宮地健次郎
 560 鉄道の未来 (12-13) 八十島義之助
 561 鉄道建設技術の夢 (14-16) 大平拓也
 562 鉄道建設技術の夢 (16-17) 金原 弘
 563 鉄道建設技術の夢 (17-20) 吉村 悦
 564 鉄道防災のビジョン (33-37) 村上 温
 565 鉄道土木の 100 年 1. 組織の変遷 (39-44) 編集部
 566 鉄道土木の 100 年 2. 技術の発達 (45-53) 編集部
 567 鉄道土木の 100 年 3. 建造物の保守と災害 (53-59) 編集部
 568 鉄道土木の 100 年 4. 鉄道記念物 (59-61) 編集部
都市計画 71 72-6
 569 屋台から都市へ—かくされた構造— (10-15) 望月照彦
 570 地域社会における近隣交流—その核としての寄合井戸— (16-22) 三浦周治
 571 ドヤ街景観の研究 (23-28) 荒井・磯・土橋・松沢
 572 集落保存と住民—妻籠宿— (29-34) 上野邦一
 573 集密居住におけるコミュニティ—集合住宅と町家の比較から— (35-42) 島村 昇
 574 生活空間としての道に関する研究 (43-48) 鳴海邦碩
 575 親と子の住み方からみた生活集団単位に関する一考察 (49-56) 野口美智子
 576 住民の地域像とまちづくり (57-62) 奥山文朗
都市問題 63-3 72-3
 577 都市施設整備の進め方 (49-60) 城家幸信
都市問題 63-4 72-4
 578 都市の生活環境 (3-14) 大泉行雄
 579 都市的性格 (15-25) 穂山貞登
 580 都市の病理 (26-36) 岩井弘融
 581 都市と人間 (37-47) 小野満春
 582 都市における少年教育 (48-59) 川崎 繁
 583 川崎市における行政区の設定 (II)—その理論と実際— (60-71) 黒沼 稔
 584 新宿副都心の形成と都庁舎移転の是非 (72-82) 清水肇八郎
都市問題 63-5 72-5
 585 炭鉱都市の問題点 (29-39) 大畑信是
 586 地域経済と都市 (I) (40-56) 金倉忠之

高性能 ・多機能

チャンネル数：7～42
 記録時間：44時間
 FM記録：DC～500kHz
 ダイレクト記録：200Hz～2MHz
 高密度PCM：3.2MBPS



種類：ポータブル型、据置型
 テープ速度：1 $\frac{1}{8}$ ～120ips. 7段切替
 使用テープ：幅 $\frac{1}{2}$ または1インチ
 径10 $\frac{1}{2}$, 14または16インチ
 チャンネル数：7, 14, 28, 32または42
 テープスピード安定度： $\pm 0.001\%$
 タイム・ベース・エラー： $\pm 0.5\mu\text{s}$
 ダイナミック・スキュー： $\pm 1.5\mu\text{s}$
 オプション例：エンドレスループ
 (150フィート)シ
 ヤトル(自動繰返
 し再生)

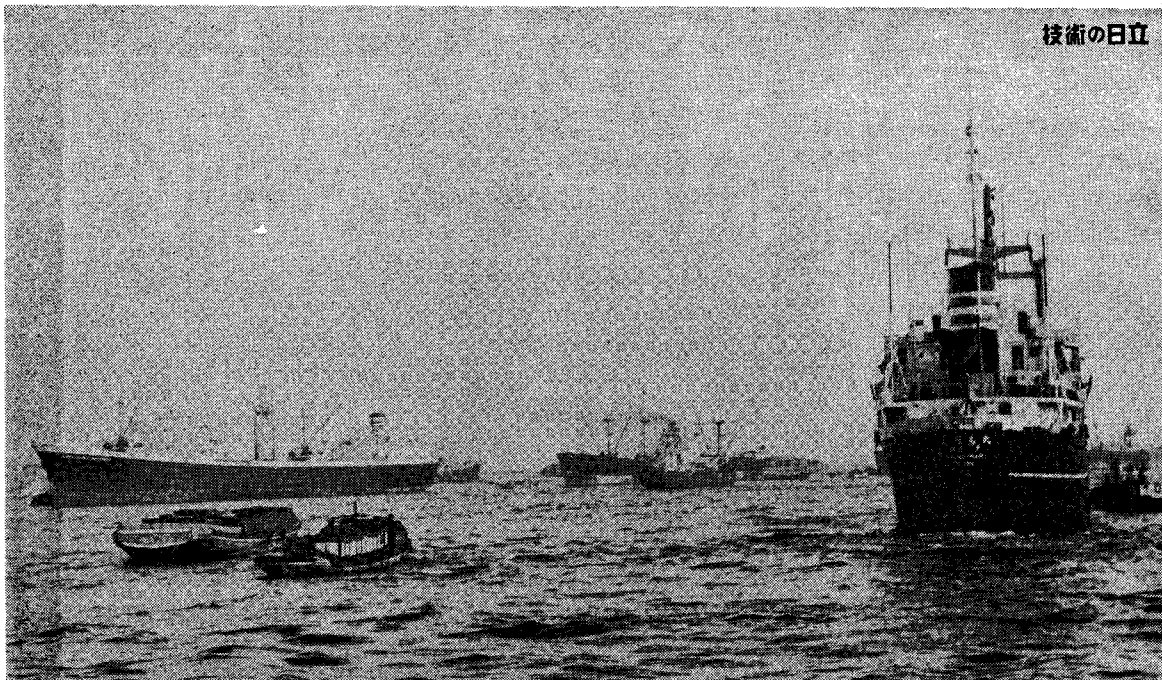
データレコーダ
SANGAMO
 SABREシリーズ

日本総代理店



電子機器・計測器
安藤電気

◆お問合せは………特機販売部・販売課まで
 東京都大田区蒲田4-19-7電話(03)733-1151



常時、船舶の位置を自動的に確認。 完ぺきな海路の整備が実現できます。

浚渫予備調査や浚渫工事は、船舶を安全に航行させる重要な作業ですが、浚渫船の位置を把握し、浚渫工事をムダなく、正確に進めることは、たいへん困難な問題でした。そこで、このような問題に対して、ミニコンを導入して解決したのが、船舶位置測定システムです。

このシステムは、HITAC10IIと電波距離測定システムや深度計などをオンラインで接続。船舶の位置測定や、深さの測定などを自動的に行なうものです。これによって、浚渫船の現在位置が容易に確認できるほか、予定浚渫に対する進路偏差も表示されるので、掘り残しのない完ぺきな浚渫工事が行なえます。

しかも浚渫区域の認識をはじめ、港湾内の深度図、浚渫軌跡図の作成なども自動化できます。とくに大型船舶の出入りのはげしい港や、海洋調査・測量などには、最適なシステムといえましょう。

〈そのほかのアプリケーション例〉

- ステレオコンパレータ
- 地籍図面積測定
- 風洞実験

- 水槽実験
- 造波シュミレーション
- 橋梁ひずみ測定
- 土木計算
- 測量計算
- 構造計算
- 土量計算
- 流体計算……など



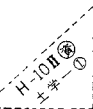
- 記憶容量=1K語~32K語
- 語長=16ビット+パリティ(倍長演算も可)
- 命令語=86(複合とバリエーションを含めると約600)
- サイクルタイム=0.9 μ s
- 加減=1.8 μ s
- 乗除=7.2 μ s

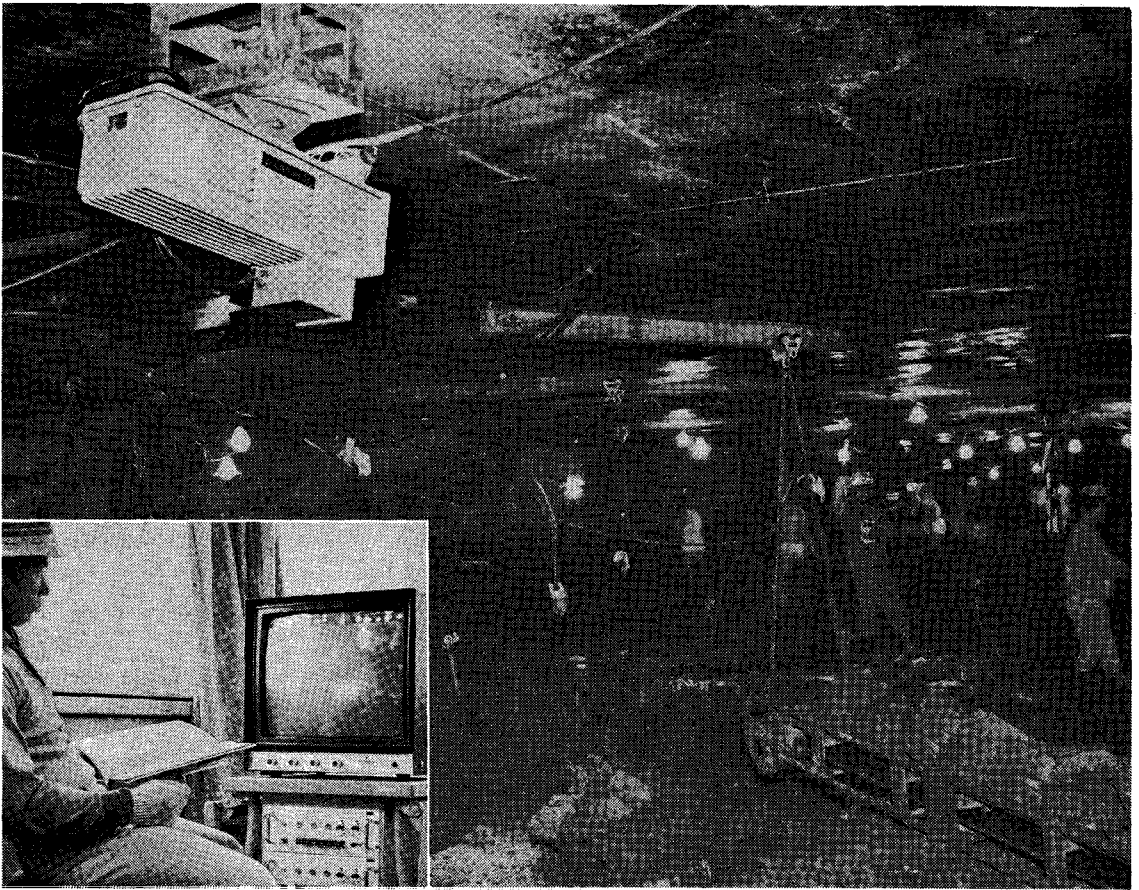
HITAC 10II



お問い合わせは=日立製作所コンピュータ第二事業部ミニコン部 電話/東京(03)765-3111<大代> または最寄りの営業所へ 大阪(06)203-5781・福岡(092)74-5831・名古屋(052)251-3111・札幌(011)261-3131・仙台(0222)23-0121・富山(0764)25-1211 広島(0822)21-6191・高松(0878)31-2111

★詳しい資料をご希望の方は、右の資料請求券をハガキに貼って下記へお送りください。
東京都品川区南大井6-23-15(日立大森別館) 〒140 (株)日立製作所コンピュータ第二事業部調査部



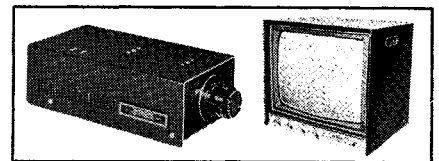


近づけない現場にも …光る監視の眼

道路工事や地下鉄工事、ビルやダム建設など、ますます大規模化する土木工事。とくに工区の広い現場や危険区域の現場などでは、その進行状況や作業の安全を監督者がいちいち歩きまわり、すべてを把握することはできません。日立CCTV装置ならどんな大きな工事現場でも集中監視。もう監督者がわざわざ現場まで足を運ぶことなく、モニタを見ながら全工程をチェックして、迅速適確な指示をあたえることができます。危険区域の監視、作業能率の向上にお役立てください。

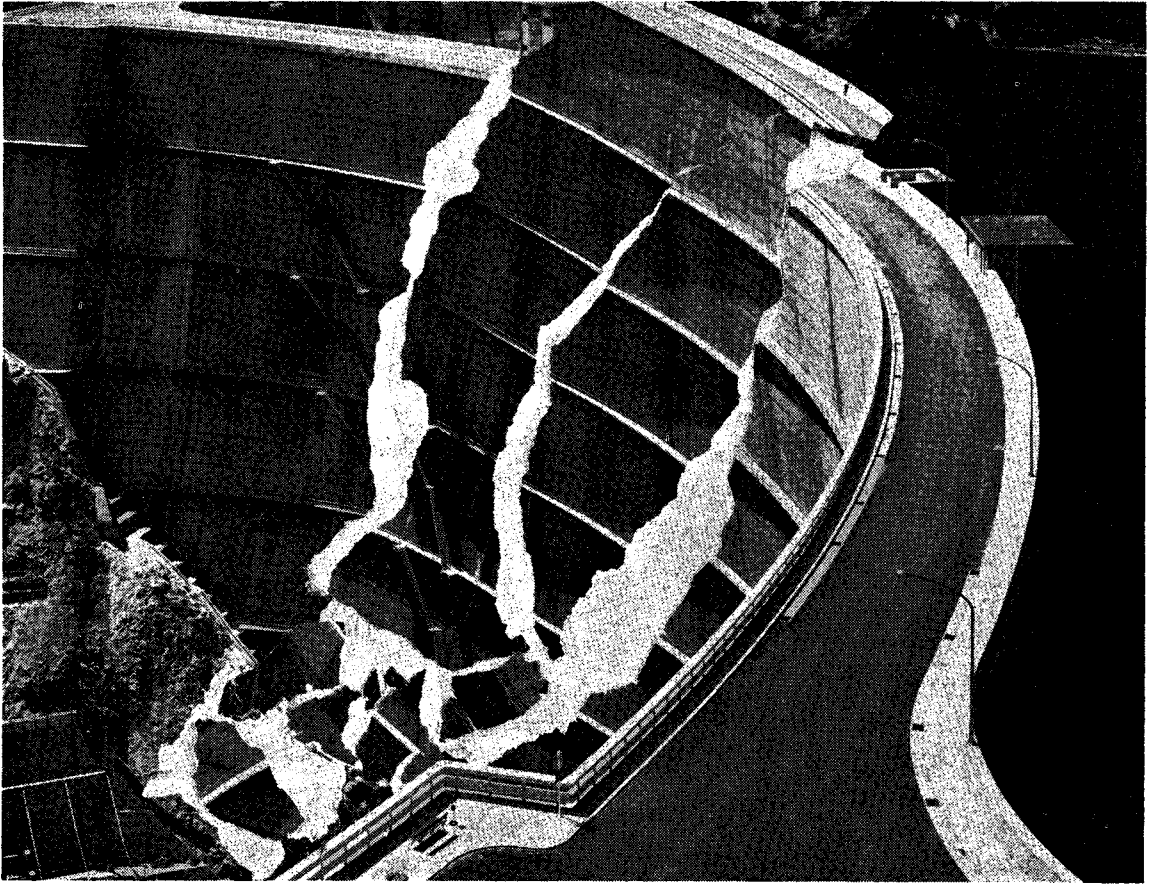
土木工事の監視に…… 安全作業に……

日立CCTV装置  **日立電子**



資料請求券
CCTV
土木-1

システム技術の日立電子

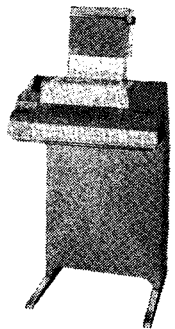
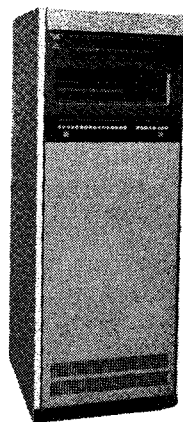


シミュレーションにうってつけの HIDAS 200

ダムをはじめとする土木建築設計計算には、日立の小形データ処理システムHIDAS200がうってつけです。強度試験のためのシミュレーションから、現場での計測処理まで、すべて自動的に解析処理。

小形で、どんな環境条件でも使える手軽さが土木建築設計にうってつけです。

小形データ処理システム
HIDAS 200



日立電子株式会社 **日立製作所** お問い合わせと資料のご請求は日立電子PR部または最寄りの営業所へ。
東京都千代田区神田須田町1丁目23番2号(大木須田町ビル) 千101 電話 東京(255)8411 <代>・大阪(203)5781・福岡(74)5831・名古屋(251)3111・札幌(261)3131・仙台(66)1801・富山(25)1211・広島(21)6191・高松(31)2111

資料請求券
アナコン
土木-1


土木のあらゆる面で川鉄がお役に立っています

川鉄の建設用鋼材

H形鋼・鋼管・溶接棒・鋼管杭
・鋼管矢板・鋼管矢板井筒工法
・ライナープレート・H形鋼支



保工・コルゲートセル・コルゲートパイプ・コルゲートフリューム・鋼矢板・鋼製山留

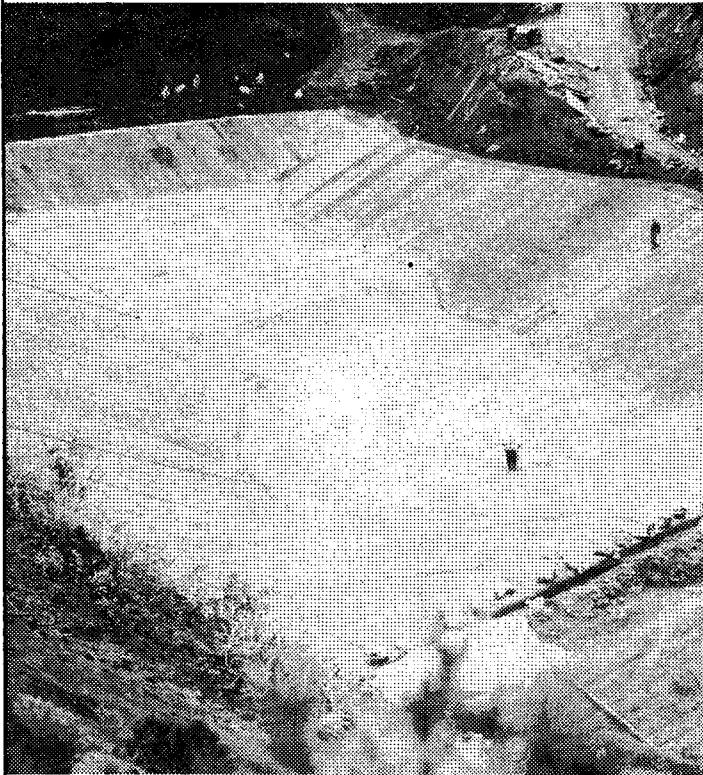
 川崎製鐵株式會社

東京営業所 東京都千代田区有楽町1-11(新有楽町ビル)
電話・東京(03)212-4511 〒100

大阪営業所 大阪市北区小深町3-1(阪急ターミナルビル)
電話(案内台)大阪(06)373-6111 〒530



工期を短縮する ブチルシート防水工法



新しい防水材ブチルシートが
施工法を変えて、大巾に工期
を短縮しています。

エッソブチルを原料とするブチ
ルシートは軽量ですから基盤
工事が簡単、もちろん施工も
簡易化されます。

沈下に対しての強度も長期使

合成ゴム

- ESSO BUTYL
- ESSO BUTYL H.T
(chlorobutyl)
- ESSO BUTYL L.M
- VISTANEX
- AID

用への耐久性も十分。漏水を最少限にとどめるパーフェクト
な防水材です。

ブチルシートは工業廃水処理池、農業用貯水池トンネル防水
工事、地下鉄防水工事多目的ダム等々に使用されます。

ブチルシートに関するお問合せは下記へお気軽に

どうぞ。_____



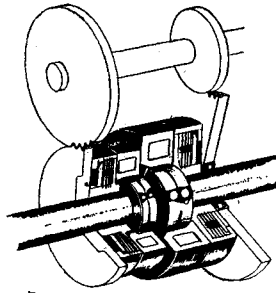
エッソ化学株式会社 合成ゴム課

本 社 東京都港区赤坂5-3-3 TBS会館 TEL.03(584)6211(代)
大阪 販売 事務所 大阪市南区塩町通り4-13 TEL.06(252)4801~3
合成ゴム加工研究室 横浜市鶴見区安善町2-5 TEL.045(521)6521(代)

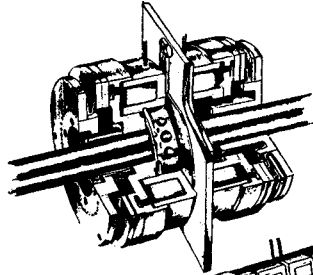
D 資料 G
請求券



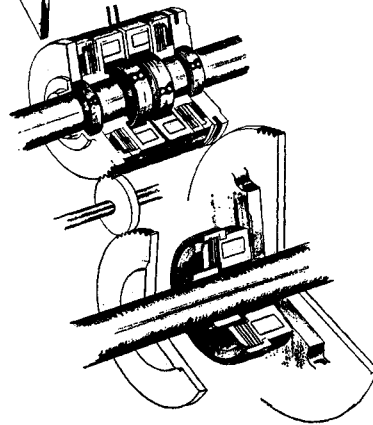
段変速例



起動停止例



正逆転例



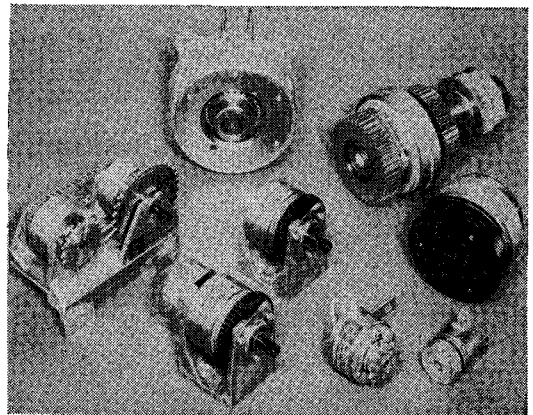
カタログモデルに加えて
カスタム設計も提供します

ユーザーの要求に応えた

カスタム設計のオグラ特殊電磁クラッチ、ブレーキ
オグラ電磁クラッチ、ブレーキは、カタログモデルに加えて、ユーザーの要求によるカスタム設計
クラッチ、ブレーキ(特殊クラッチ)を過去数1,000
種にわたり製作しております。これら数多くのクラ
ッチ、ブレーキは、工作機械から事務機械までワ
イドな用途に動力制御要素として起動、停止をは
じめ高低変速、高速送り、送り切換え、複合送り、
正逆転、定位置停止etc

のシステム化、自動化、能率化に大きな役割を果
しております。

…あなたのそばの機械にもオグラクラッチが？



特殊電磁マイクロクラッチ

自動化へのクリエイター
小倉クラッチ株式会社

電磁、機械安全、油圧、空圧クラッチブレーキ

本社・工場 376・群馬県桐生市相生町2-678 ☎0277-44-7101(代)
第二工場 376・群馬県桐生市相生町2-417 ☎0277-44-7441-2
第三工場 376・群馬県桐生市相生町2-403 ☎0277-45-0515(代)

東京営業所 105・東京都港区浜松町1-10(第1共栄ビル)☎03-433-2151(大代)
名古屋出張所 ☎052-211-5827 大阪出張所 ☎06-443-0441(代)
広島出張所 ☎0822-48-2848(代) 海外事業所 アメリカ・ニューヨーク